B Type
Digital Wireless
Microphone System

W O U - 8 1 3 0

リモコン受発光ユニット

取扱説明書

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

TAMURA

安全上のご注意：

ここでは当社製品を安全にご使用いただく上で大切な[禁止事項]・[注意事項]について記載します。操作に入る前に必ずお読みいただき、大切に保管し、正しくご使用いただくようお願いいたします。また廃棄の際は〔廃棄上の留意点〕を必ずお読みください。

⚠警告　この表示とともに記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠注意　この表示とともに記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

△記号は注意しなければならない内容（警告を含む）を示しています。
具体的な注意内容は△の中や近くに絵や文章で示しています。左図の内容は[感電注意]を示しています。

⃠ 記号は、禁止内容（してはならないこと）を示しています。
具体的な内容は ⃠ の中や近くに絵や文章で示しています。
左図の場合は[分解禁止]を示しています。

● 記号は、強制内容（必ずやること）を示しています。
具体的な注意内容は ● の中や近くに絵や文章で示しています。
左図の場合は［電源プラグをコンセントから抜く］を示しています。

・製造責任法に規定する欠陥が存在することに起因する場合を除き、製品を使用し、お客様の生命、身体または財産に損害が生じることがあっても当社は何ら責任を負うものではありません。

・本製品の瑕疵によった場合でも、お客様が当社指示以外の作業などを行った場合、その費用や損害については、当社は何ら責任を負うものではありません。

⚠ 警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

機器内部に水や異物が入ったなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。

機器を落としたりカバーを破損したりした場合、そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

配線ケーブルの断線、芯線の露出などケーブルが傷んだ場合、そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

機器本体に直接水のかかる場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

本機の分解・修理・改造は絶対にしないでください。またカバーは絶対に外さないでください。火災・感電の原因となります

配線ケーブルを本機、壁に挟み込んだりしないようにしてください。
ケーブルが傷ついて火災・感電の原因となります。

梱包に使用されている袋（ポリ袋、エアパッキン等）は被らないでください。
窒息する恐れがあります。

人命に関わる用途には絶対に使用しないでください。

⚠ 注意

工事は販売店に相談してください。工事には技術と経験が必要です。
火災・感電・けが・器物損壊の原因となります。

屋外に設置しないでください。本機は屋内専用品です。屋外に設置すると、部品の劣化により、機器が落下して、けがの原因となります。

本機はマイクのチャネル自動設定機能に赤外線通信を利用しています。直射日光やスポットライトなど、強い光が当たる場所に設置しないでください。赤外線通信が影響を受け、チャネル自動設定ができなくなる場合があります。
また、日光は時刻により屋内への差込み具合が変化しますので十分にご考慮のうえ設置場所を決定してください。

不安定な場所に置かないでください。
落下し機器が破損し、火災・感電の原因となることがあります。

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たるところなど、異常に温度の高いところには置かないでください。火災の原因となることがあります。

振動の多い場所では使用しないでください。
機器が破損し、火災・感電の原因となります。

埃の多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

精密機械のため、乱暴に扱わないでください。
機器が破損し、火災・感電の原因となります。

ねじや固定機構はしっかり締め付けてください。
締め付けがゆるむと落下などでけがの原因となります。

清掃上の留意点:
清掃は、乾布で拭いてください。
本機の表面の清掃は、有機溶剤は、使用しないでください。筐体が腐食したり変形する恐れがあります。

廃棄上の留意点：

・お客様へ

本機を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託してください。

・回収サービス：

当社製品による入れ替えにともなう回収をご希望される場合は、当社営業部へお問い合わせください。この場合、産業廃棄物としての管理などに関わる費用を別途請求させていただく場合があります。

異常や不具合が起きた：

すぐに接続先（デジタルワイヤレス受信機 WOL－8130）の電源を切り、販売店又は当社カスタマーサポートにご連絡ください。連絡先は本書末尾に記載してあります。お客様による修理は危険ですので、絶対にお止めください。

その他ご不明な点等がございましたら当社営業部までご相談ください。

（連絡先は最後のページをご覧ください）

目　次

1. 概要 7
2. 構成 7
3. 各部の名称と機能説明 8
4. 取付け手順 9
5. 定格性能 13
6. 外形寸法図 14
7. 系統図 15
8. 故障かなと思ったら 16

1. 概要

WOU-8130リモコン受発光ユニットは、デジタルワイヤレス受信機WOL-8130に接続する赤外線通信拡張ユニットです。

WOL-8130 を、マイク使用場所から離れたマシン室などの赤外線が届かない別の場所に設置する場合、本ユニットをマイク使用場所に設置・接続してマイクのチャネル自動設定を行います。

※WOL-8130 は赤外線通信ユニットを内蔵し、ワイヤレスマイクWTT-8130 のチャネル自動設定機能を有しますが、内蔵ユニットと本ユニットの同時使用はできません。使用ユニットの切替設定は WOL-8130 で行います。

2. 構成

本体

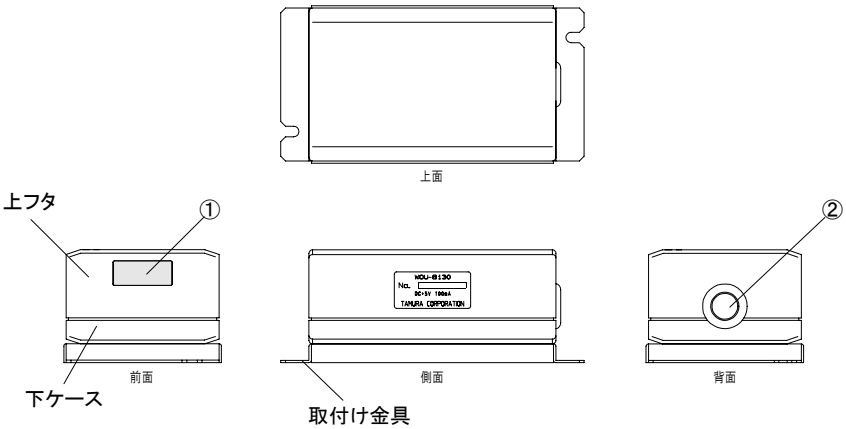
1） WOU－8130　リモコン受発光ユニット　1 台

付属品

1） 結束バンド（ケーブル固定用）　2 本

2） 取扱説明書（本書）　1 部

3. 各部の名称と機能説明



① リモコン受発光部

ワイヤレスマイク WTT－8130 をチャネル自動設定モードで使用時に赤外線制御データ(チャネル設定データ)を送受信します。

ワイヤレスマイクの下部にあるリモコン受発光部を本機のリモコン受発光部に向けて電源 ON することにより、チャネル設定のデータ通信を開始し、ワイヤレスマイクに対してチャネルの自動割当を行います。(通信時間は約 2 秒です。)

※赤外線通信は WTT－8130 がチャネル自動設定モード時のみ行います。
(詳しくは WTT-8130 の取扱説明書をご覧ください。)

・ワイヤレスマイクが「ピッ」と 1 回鳴って正常にチャネル設定が終了します。

・「ピー, ピー, ピー」と 3 回鳴った場合は通信エラーですので一旦マイクの電源を OFF し、3 秒以上たってから再びマイクの電源を ON してください。

② ケーブル配線孔

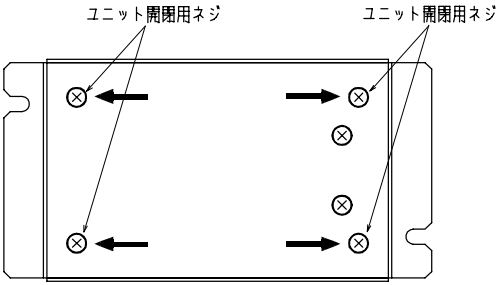
デジタルワイヤレス受信機 WOL－8130 と接続するケーブルを通します。

4. 取付け手順

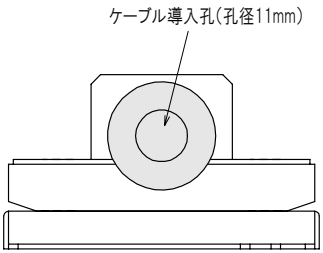
・工事は販売店に相談してください。工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

・WOU-8130 リモコン受発光ユニットは、ワイヤレスマイク WTT-8130 との赤外線通信が正常に行える場所に固定してください。

①底面にあるユニット開閉用ネジを 4 箇所外します。ケースの上蓋を外します。
他のネジ 2 箇所は内部金具固定ネジですのでゆるめないでください。



②下ケースにケーブル導入孔があります。配線する線材に合わせてグロメットをカットし、配線ケーブルを通してください。



●適合ケーブル仕様

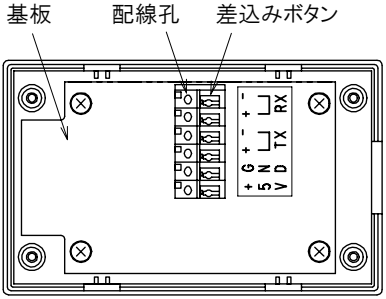
・線種　　：弱電計装用ケーブル （ツイストペア線　3P）
・導体抵抗：50Ω/km 以下
・線径　　：撚線　0.2mm^2～0.5mm^2 （AWG24～AWG20）
（※WOU－8130 ユニット内 端子台の適合線径条件）

●推奨工事ケーブル：IPEV-S（フジクラ製）AWG20　7/0.32(0.5mm^2) 3P 相当
（静電シールド付）

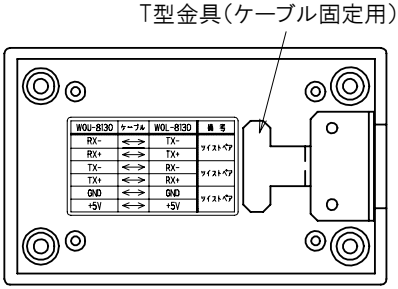
③上フタ内側に端子台および基板があります。
接続先はデジタルワイヤレス受信機 WOL－8130 です。
下表にしたがって端子台に配線してください。
端子台の差込みボタンを(－)ドライバ等で押して配線孔にケーブルを挿して下さい。　※標準剥き線長 9mm

接続表

WOU-8130	ケーブル	WOL-8130	説 明	備 考
RX －	⟷	TX －	RS-485 データ ←	ツイストペア接続
RX ＋	⟷	TX ＋		
TX －	⟷	RX －	RS-485 データ →	〃
TX ＋	⟷	RX ＋		
GND	⟷	GND	信号アース	〃
+5V	⟷	+5V	電源入力	



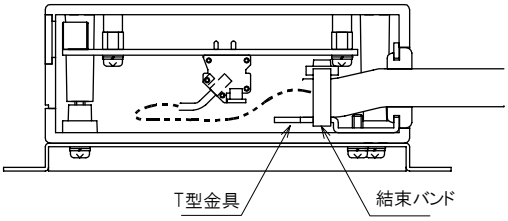
上フタ内部図



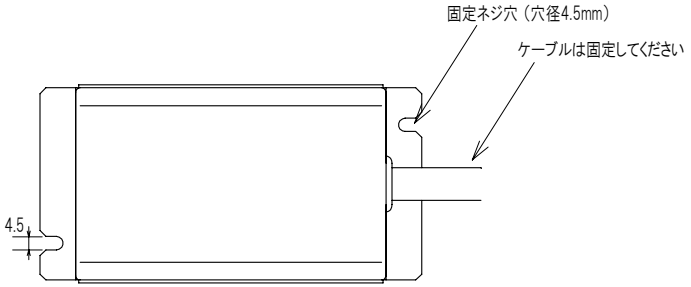
下ケース内部図

下ケースの T 型金具はケーブル固定用です。付属の結束バンドを使用してください。

④配線ケーブルを付属の結束バンドで図のようにT型金具を通して固定してください。
固定した後、上蓋と下ケースを合わせて閉じ、①で外したネジを締めてください。



⑤本体をネジで設置場所に固定してください。固定用ネジは添付していませんので、取付ける場所に対応したネジ（サイズ M4）を使用してください。
また、配線ケーブルも本体の近くで固定してください。

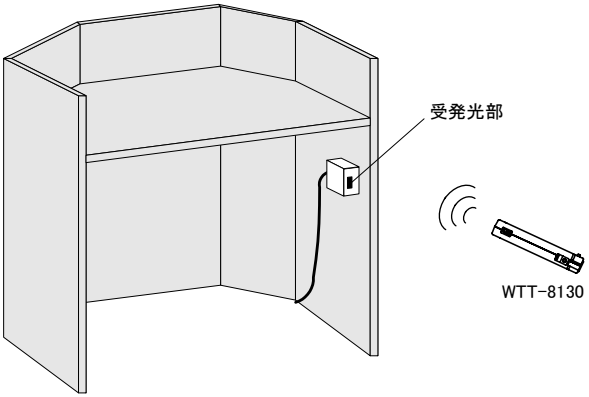


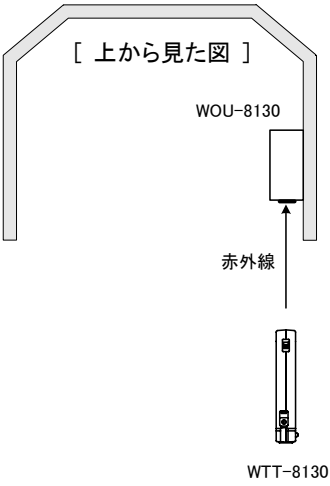
各部寸法は 6. 外形寸法図を参照してください。（⇒ 14 ページ）

> ⚠注意　直射日光やスポットライトなど、強い光が当たる場所に設置しないでください。赤外線通信が影響を受け、チャネル自動設定ができなくなる場合があります。

（講演台への設置例）

ワイヤレスマイクWTT－8130を本機の正面から受発光部に向けて赤外線通信（マイク使用開始時のチャネル自動設定操作）をし易い位置に設置してください。





5. 定格性能

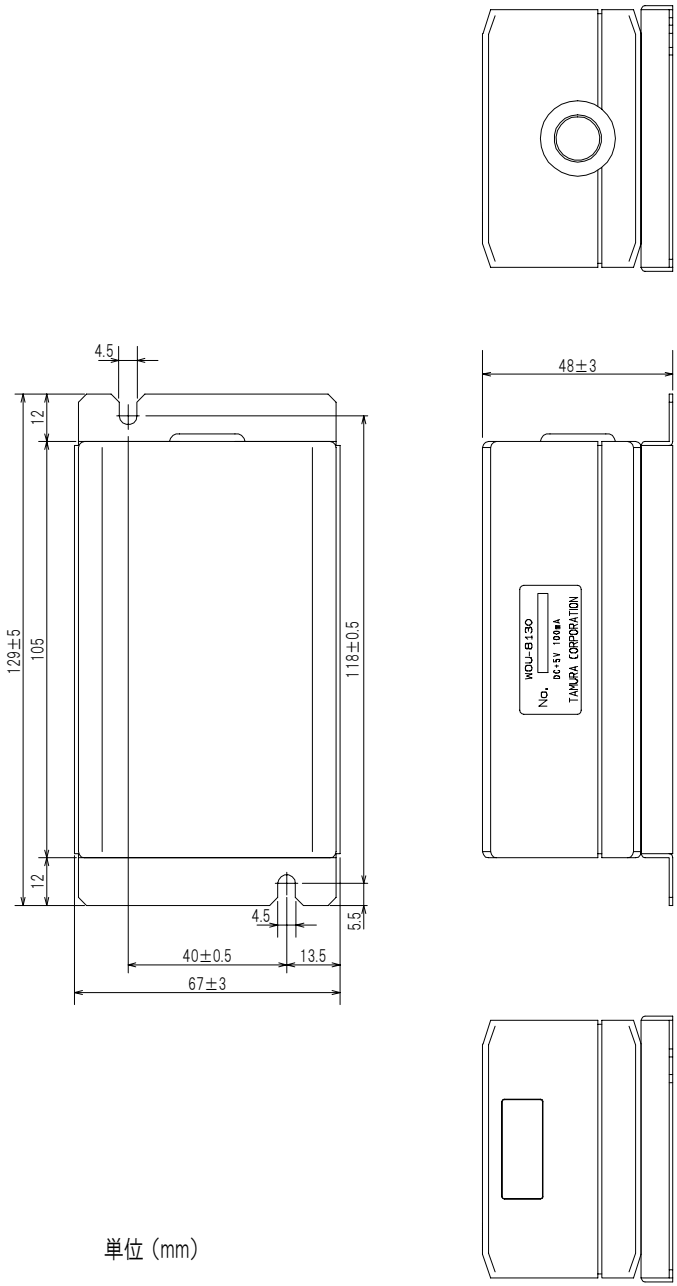
1）マイク周波数設定制御（赤外線リモコン）

1）キャリア周波数	38kHz
2）変調方式	ASK 変調
3）通信距離	正面 3m 以内

2）対 WOL－8130 通信

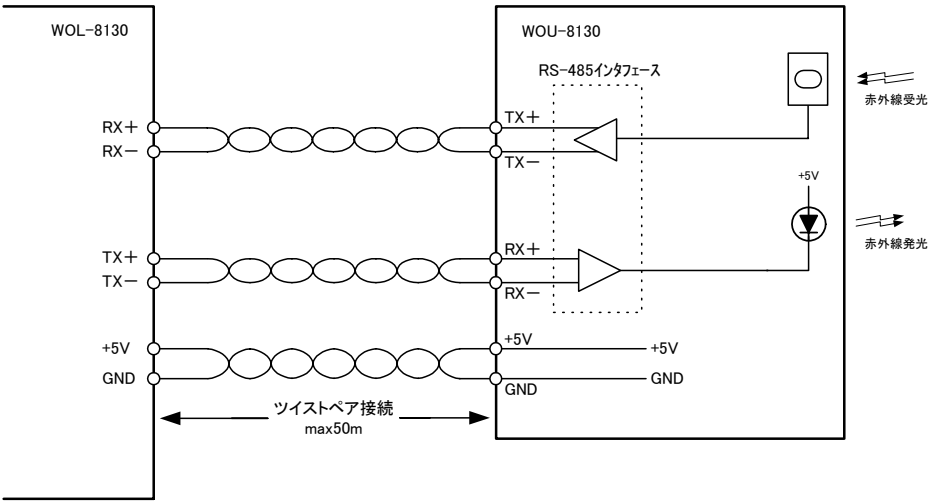
1）通信 I/F	RS-485 準拠
2）接続距離	最大 50m （適合ケーブル 導体抵抗：50Ω/km 以下，撚線 AWG20）
3）電源	+5V±10%（端子台入力点）
4）消費電力	100mA 以下
5）動作温度	0～50℃
6）保存温度	-20～60℃
7）湿度	20～90% （結露無きこと）
8）外形寸法	W = 129±5, H = 48±3, D = 67±3 (mm)
9）質量	180g ±18g （付属品含まず）

6. 外形寸法図


4.5
12
129±5
105
118±0.5
12
4.5
5.5
40±0.5
13.5
67±3
48±3
WOU-B130
No.
DC-5V 100mA
TAMURA CORPORATION

単位 (mm)

7. 系統図


WOL-8130
WOU-8130
RS-485ｲﾝﾀﾌｪｰｽ
赤外線受光
赤外線発光
RX＋
RX－
TX＋
TX－
+5V
GND
TX＋
TX－
RX＋
RX－
+5V
GND
+5V
GND
ツイストペア接続
max50m

8. 故障かなと思ったら

症状	原因	対処のしかた
ワイヤレスマイクが設定できない	ワイヤレスマイクロホンの電池が消耗している。	ワイヤレスマイクロホンの電池を交換する。
	ワイヤレスマイクロホンの設定が誤っている。	ワイヤレスマイクロホンのグループ・チャネル設定を’00’にし、赤外線通信を行う。
	既に別のワイヤレスマイクロホンが接続されている。	接続されているワイヤレスマイクロホンの電源を OFF し、新たに接続するワイヤレスマイクロホンの電源を ON にする。
	直射日光が当たっている。	直射日光を遮って、ワイヤレスマイクロホンの電源を ON する。
	WOU－8130 を使用するモードに WOL－8130 が設定されてない。	WOL－8130 の前面パネル内スイッチ SW205-4 を ON にし、電源を再投入する。

※ワイヤレスマイクロホン WTT－8130, デジタルワイヤレス受信機 WOL－8130 の取扱説明書を参照してください。

MEMO

MEMO

保証規定

保証期間は　ご購入日より 1 年間

保証期間中に正常な使用状態のもとで、万一故障が発生した場合には無償で修理 いたします。但し下記事項に該当する場合は無償修理の対象から除外します。

1. 不当な修理や改造による故障
2. 不適当な取扱い又は使用による故障
3. 天災など故障の原因が本機以外の事由による故障
4. ご購入後の輸送、移動、落下等による故障及び破損

ご使用中に不具合が発生し修理を必要とする場合、また動作運用上についてご不審の点がある場合、その他当社取扱品目についてご要望事項がありましたら、当社営業部までご連絡ください。

なお、修理・再調整期間を短縮するために事故状態・ご使用期間などの経歴をできるだけ詳細にお知らせください。

株式会社 タムラ製作所

ブロードコム事業部
〒178-8511　東京都練馬区東大泉 1-19-43
営業　TEL　03-3978-2141・2146(ダイヤルイン)
FAX　03-3978-2005

カスタマーサポート　TEL　03-3978-5269(ダイヤルイン)
FAX　03-3978-2119

西日本営業所
〒564-0062　大阪府吹田市垂水町 3-27-27 第 2 江坂三昌ビル 5F
TEL　06-4861-7722(代表)
FAX　06-4861-7728

株式会社タムラ製作所
TAMURA CORPORATION
http://www.tamura-ss.co.jp/

仕様および外観など、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。